

# 箱で抵抗力をつけて、 本田ですっと 安心航海



## ルーチン®バリアード® 箱粒剤

育苗期のいつでも使えて  
本田で長く効く、  
いもち病・初期害虫防除剤

イネ自身に抵抗力をつける  
植物病害抵抗性誘導剤「ルーチン®」と  
初期害虫に強い「バリアード®」がひとつに



大型包装  
10kg入



1kg入



いもち病

白葉枯病

穂枯れ(ごま葉枯病菌)

イネミズゾウムシ

イネドロオイムシ

ツマグロヨコバイ

ニカメイチュウ

®ルーチン、®バリアードはバイエルグループの登録商標

育苗期のいつでも使えて本田で長く効く、  
いもち病・初期害虫防除剤。

# ルーチン®バリアード®箱粒剤

農林水産省登録 第22707号

●成分：チアクロプリド……………1.5%  
          インシアニル……………2.0%

●毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に  
該当しないものを指すという通称）

**1 育苗箱処理で水稻の主要病害虫に高い防除効果を示します。**  
水稻主要病害虫のいもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイに対して高い防除効果を発揮します。  
また、白葉枯病、穂枯れ（ごま葉枯病菌）に対しても効果があります。

**2 は種前から移植当日までと幅広い処理時期があります。**  
新規殺菌剤ルーチン®と新技術「CR(コントロール・リリース)」を適用したバリアード®により幅広い処理時期を可能にしています。

**3 植物病害抵抗性誘導型殺菌剤であるため耐性菌発達のリスクが小さい薬剤です。**  
ルーチン®は、既存のイネいもち病薬剤耐性菌に対しても有効です。

**4 浸透移行性に優れ、長い残効性があります。**  
ルーチン®とバリアード®は、優れた浸透移行性と長い残効性を有しています。

**5 人畜および有用生物に対しても高い安全性を示します。**  
人畜、水産動植物などへの安全性が高く、環境への影響が少ない薬剤です。

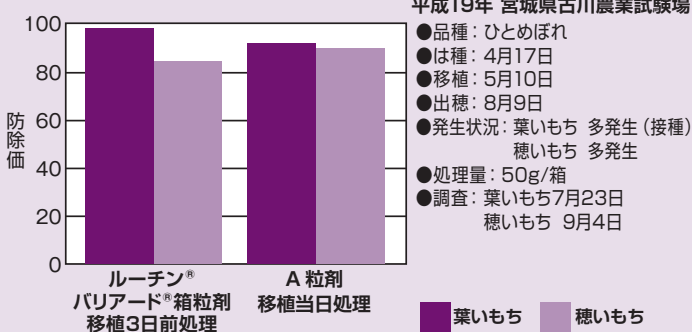
## 適用病害虫および使用方法（2019年7月現在）

| 作物名        | 適用病害虫名                                              | 使用量                                       | 使用時期              | 使用回数*                                 | 使用方法                    |
|------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 稲<br>(箱育苗) | イネドロオイムシ<br>イネミズゾウムシ<br>ツマグロヨコバイ<br>ニカメイチュウ<br>いもち病 | 育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ)<br>1箱当り50g | は種前               | 本剤:1回                                 | 育苗箱の床土または<br>覆土に均一に混和する |
|            | 白葉枯病<br>穂枯れ(ごま葉枯病菌)                                 |                                           | は種時(覆土前)<br>～移植当日 | チアクロプリド:1回                            | 育苗箱の上から<br>均一に散布する      |
|            | 苗腐敗症<br>(もみ枯細菌病菌)                                   |                                           | は種時(覆土前)          | インシアニル:3回<br>(移植時までの処理は1回、<br>本田では2回) |                         |
|            | もみ枯細菌病                                              |                                           | 移植当日              |                                       |                         |

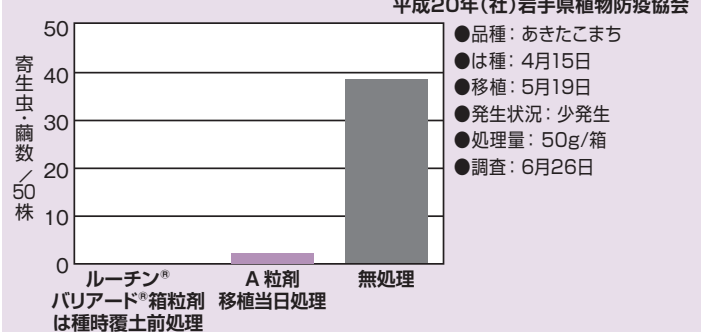
\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す

## 試験成績

### ●いもち病に対する効果



### ●イネドロオイムシに対する効果



## 注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには被害を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、被害を生じやすいので、代かきをはいていに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないように注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。